

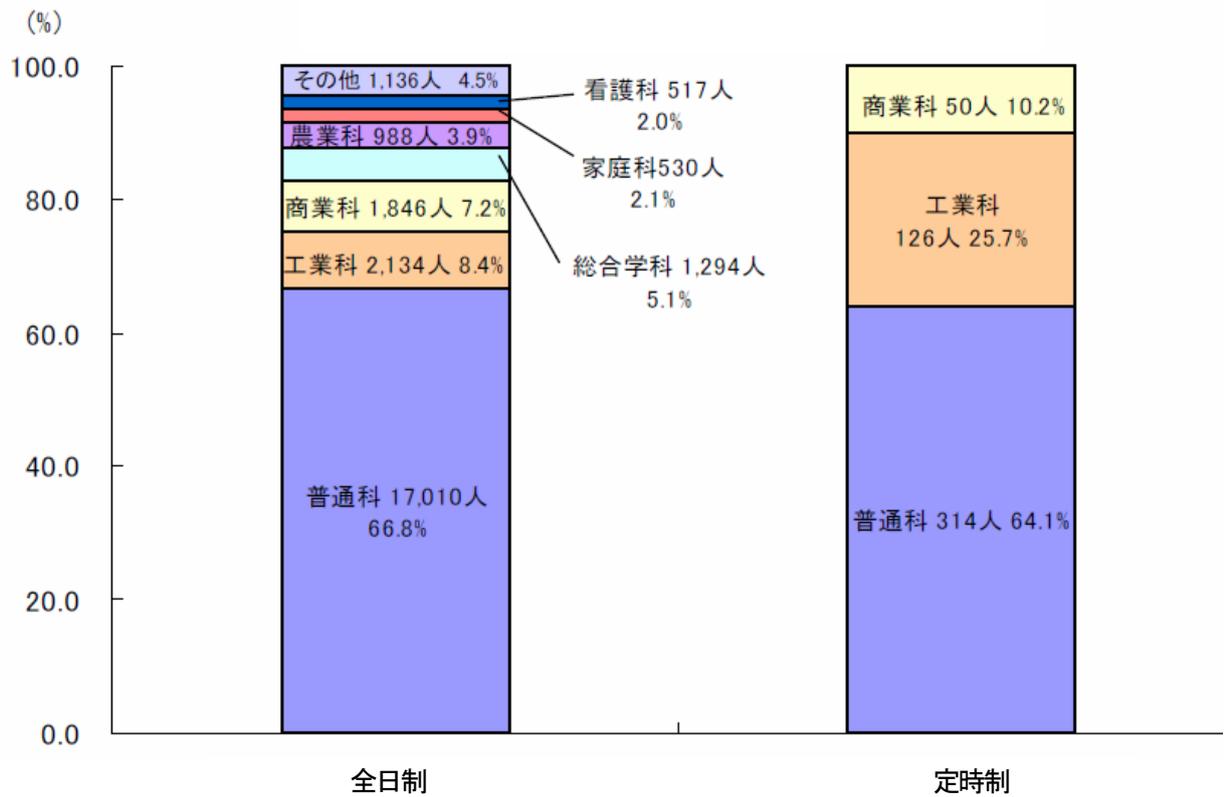
平成23年度
香川県次代の担い手育成コンソーシアム
第1回会議

〔資料〕

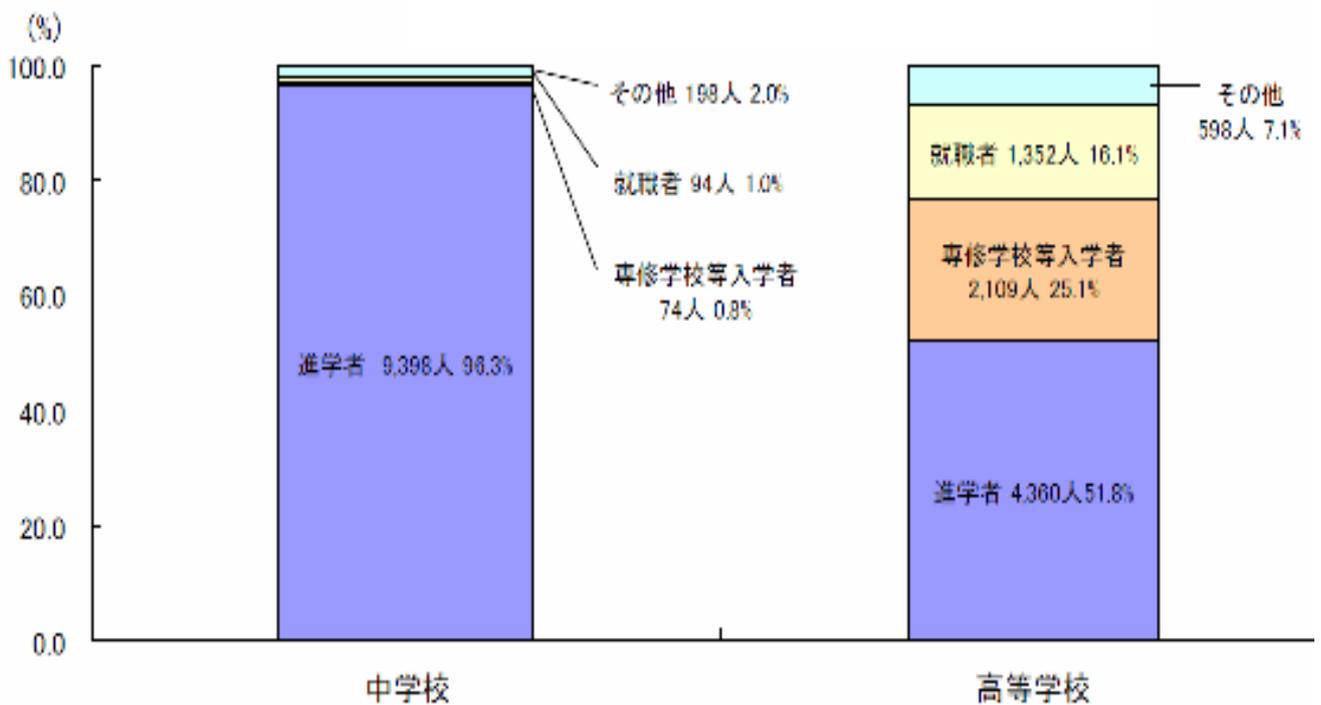
日時 : 平成23年 6月 10日 (金) 10:00~12:00
会場 : 香川県庁 北館403会議室

香川県教育委員会

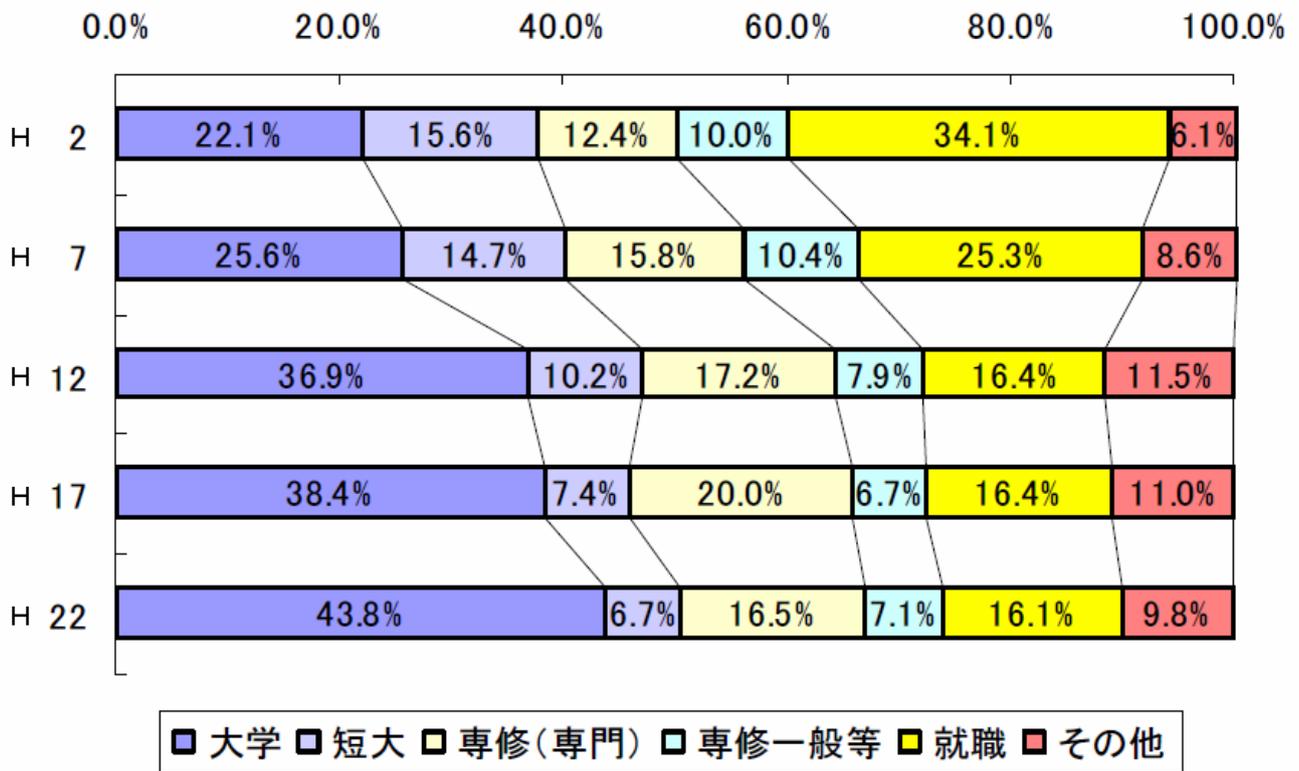
1 高校生の学科別割合（公立・私立） 平成22年5月1日現在



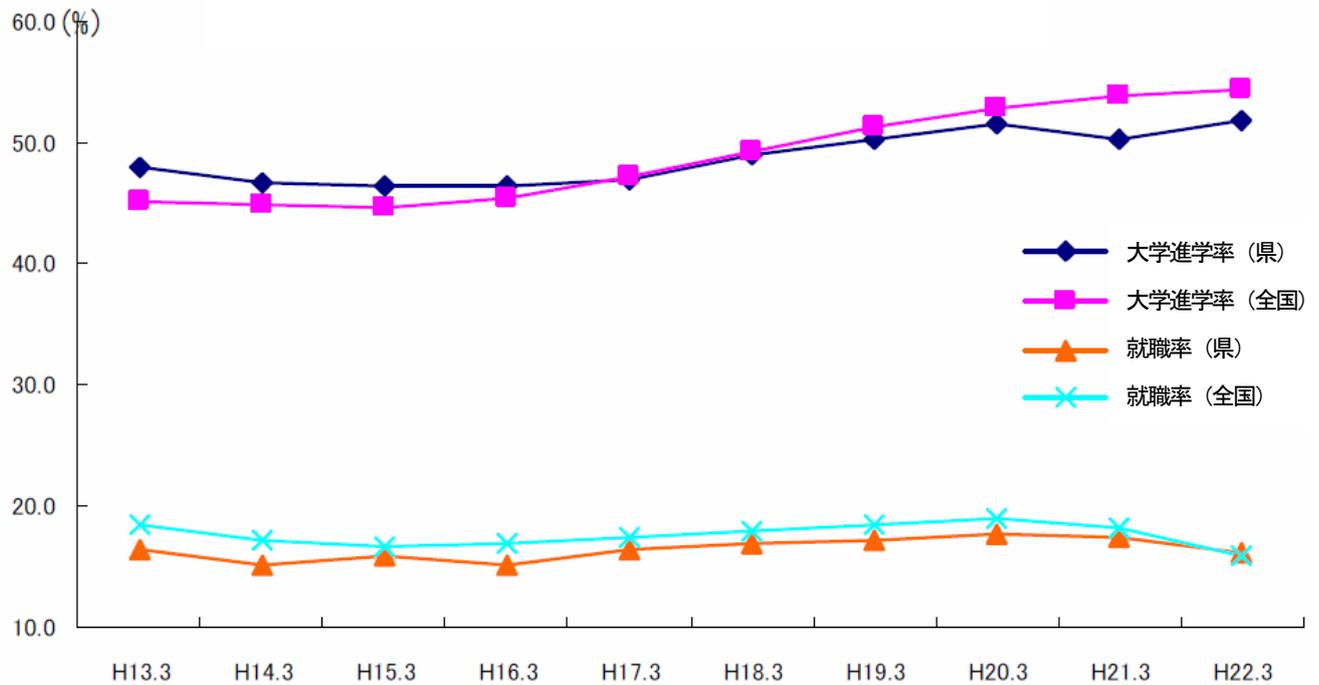
2 卒業後の進路状況（公立・私立） 平成22年3月



3 高等学校卒業後の進路状況の推移



4 高等学校卒業後の進学率・就職率の推移 (公立・私立)



5 平成23年3月香川県公立高等学校卒業者の就職内定状況

① 概況

平成23年3月高校卒業者の就職内定率（平成23年3月末現在）

- 全 国 93.2%（前年同期比 + 1.6ポイント）
- 香 川 県 97.0%（前年同期比 + 2.3ポイント）
- 公立高校 98.2%（前年同月比 + 3.3ポイント）
 - ・全 日 制 98.8%（前年同月比 + 1.1ポイント）
 - ・定 時 制 83.3%（前年同月比 + 34.1ポイント）

② 国公立高校就職内定率

（単位：％）

		10月末	12月末	3月末
平成17年度	全 国	59.0	77.9	92.8
	香 川	64.0	78.6	94.0
平成18年度	全 国	64.2	81.5	93.9
	香 川	65.5	84.6	96.4
平成19年度	全 国	67.4	83.8	94.7
	香 川	72.1	87.8	97.1
平成20年度	全 国	66.8	82.3	93.2
	香 川	69.9	86.0	96.0
平成21年度	全 国	55.2	74.8	91.6
	香 川	59.8	81.6	94.7
平成22年度	全 国	57.1	77.9	93.2
	香 川	61.6	82.0	97.0

〔23年3月末現在 県内高校卒業予定者8,360名 就職希望者1,435名 内定者1,392名〕

③ 県内公立高校就職内定率

（単位：％）

	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成17年度	72.5	79.6	85.1	89.6	93.5	97.2
平成18年度	71.2	80.0	87.4	90.8	93.9	96.6
平成19年度	75.8	84.8	89.0	92.2	94.8	96.9
平成20年度	74.0	82.2	89.1	92.7	95.6	97.0
平成21年度	67.6	78.1	85.3	89.7	91.7	94.9
平成22年度	70.7	80.3	88.0	91.9	95.7	98.2

〔23年3月末現在 公立高校卒業予定者6,531名 就職希望者1,070名 内定者1,051名〕

④ 県内公立高校の課程別・学科別の就職内定率（3月末現在）

（単位：％）

		平成21年度		平成22年度	
課程別内定率	全日制課程	97.7	(959/982人)	98.8	(1016/1028人)
	定時制課程	49.2	(29/59人)	83.3	(35/42人)
学科別内定率	普通科	89.4	(185/207人)	95.2	(216/227人)
	農業科	96.9	(154/159人)	97.7	(170/174人)
	工業科	96.8	(387/400人)	99.5	(364/366人)
	商業科	91.4	(106/116人)	98.4	(122/124人)
	水産科	100.0	(34/34人)	100.0	(33/33人)
	家庭科	93.9	(31/33人)	100.0	(39/39人)
	情報科	66.7	(2/3人)	100.0	(2/2人)
	総合学科	100.0	(88/88人)	100.0	(103/103人)
	その他	100.0	(1/1人)	100.0	(2/2人)

6 平成22年度 高校におけるキャリア教育の主な取組

①インターンシップ（23校で実施）

（目的） 勤労体験を通じて、望ましい職業観を身につけさせる。

インターンシップの実施実績

〔全ての職業高校と普通科高校8校〕

- ・工業科・・・製造業、建設業、デザイン関係など
- ・農業科・・・栽培、販売、生産物の出荷調整、食品加工、酪農など
- ・商業科・・・販売、接客、金融、流通、経理事務補助など
- ・普通科・・・保育所、販売、介護、新聞社など

平成23年3月卒業者のインターンシップ実施率

県立高校全体 26.8%

（職業学科 62.8%、普通科 8.3%、総合学科 70.5%）

成果等

- ・インターンシップ（就業体験）を実施し、勤労観・職業観やコミュニケーションの大切さや責任感などを体得した。（志度ほか）
- ・インターンシップや企業見学（職場見学）を実施し、職業の理解を図った。（三豊工業ほか）
- ・長期休業中、先進農家で実習体験を行い成果を上げた。（農業経営）

②社会人講師の活用（全ての県立高校で実施）

（目的） 地域社会から優れた知識・技術・経験を持つ人材を、総合的な学習の時間や各科目等の授業時間に講師として招き、仕事の理解を図るとともに、日々の学習の意義を再確認させる。

〔平成22年度実施例〕

- ・国土地理院の職員による最新の測量技術の学習（石田）
- ・電力会社技術者による配電技術の学習（坂出工業）
- ・弁護士や医師等による講演会（普通科高校）

成果等

- ・地元で働く社会人を招き、仕事の内容や働くことの意義を話してもらった。（小豆島ほか）
- ・先輩講話や社会人講師による講義を通じて職業観・勤労観の育成をしている。（志度ほか）
- ・産業界の第一線で活躍している企業人を招聘し、現代の技術を理解させるとともに、働くことの意義を考えさせている。（多度津ほか）

③進路指導講演会（8校で実施）

（目的） 企業の代表者や採用担当等を講師として招き、「働くこと」や「企業が求める人材」等について講演を開催し、生徒の職業観・勤労観を育成する。

〔平成22年度実施例〕

高松(定)、高松工芸、高松商業、農業経営、坂出商業、丸亀(定)、多度津、笠田

- ・「企業の求める人材とものづくりのやりがい」 大倉工業㈱ 人事労務部（多度津）
- ・「夢を実現する行動」 USKグループ 代表（丸亀(定)）
- ・「進路の決定について」 高卒就職ジョブサポーター（高松工芸、笠田）

成果等

- ・卒業生を招き、進路実現に係る体験談を話してもらっている。(三木ほか)
- ・「10名の社会人講師と語り合う会」により様々な職業の実態を聞ける。(高松西)
- ・先輩講話や社会人講師による講義を通じて職業観・勤労観の育成をしている。(志度ほか)

④大学等訪問、出前講座(24校で実施)

(目的) 大学進学を希望する者に、大学でどのようなことが学べるかを実感させるために、大学訪問をしたり、大学の出前講座を実施する。

[平成22年度実施例]

- ・県内の大学を訪問、大学・短大など34種類の分野で模擬授業(1・2年)(土庄ほか)
- ・理数科体験外部研修(宇宙航空研究開発機構、国立科学博物館など見学)(三本松)

成果等

- ・高大連携の取組の中で、学問・研究に対する興味を向上させている。(観音寺第一ほか)
- ・大学の先生を招き、大学で学ぶことや大学進学後の進路について説明を受け、自分の進路を考えるきっかけにした。(高松ほか)

⑤その他の取組

○普通科

【総合的な学習の時間やホームルーム】

職業研究、進路研究、自己理解・他者理解(自分探し・仲間づくり)、地域理解、異文化理解

【介護体験やボランティア活動】

- ・夏期休業中や学年末休業日に、老人ホーム、保育所等でのボランティア活動に取り組み、「学校外の学修」として単位を認定している。(琴平)
- ・1年生全員が、地域の福祉施設を訪問し交流を深めた。(観音寺第一)

○職業学科

【資格取得】

- ・資格取得を目指すことで動機付けを行い、合格することで達成感を味わい、学習や進路に前向きに取り組む姿勢を育成している。(高松商業ほか)
- ・高度な資格取得に向けた資格取得講座を実施している。(坂出商業)

[参考]

坂出市では、市内の高校(坂出、坂出商業、坂出工業、坂出第一)に在学する生徒に対し、資格取得に要する経費を補助している。

【ホームルームなど】

- ・ライフプランを作成し、発表をさせた。(飯山)
- ・職業適性検査などを実施した。(笠田)
- ・新入生オリエンテーションでキャリアガイダンス指導を実施している。(高松商業)

7 進路指導上の課題

○普通科

- ・進路希望が多様で、生徒一人ひとりの適性と能力に応じた進路指導が必要。
- ・将来どのような進路を選択すべきかを考えられないなど、目的意識の希薄な生徒が見られる。
- ・将来は、フリーターでもよいという保護者が増えている。
- ・将来の夢を具体的に描けない生徒が増えてきた。

○職業学科

- ・コミュニケーション能力が不足している生徒が増えてきた。
- ・進学や就職の意識が低く、個別指導にも関わらない生徒がいる。
- ・「ホームシックになった」「上司からひどく叱られた」などが原因で早期退職する生徒など、早期離職者が少なくない。
- ・進路に対する意欲・意識が不十分で、継続的な努力をしないまま安易な進路選択をする生徒がいる。
- ・進路選択の決定が遅くなる傾向にある。

8 平成23年度 キャリア教育充実事業（新規事業）

○ キャリア教育の充実

インターンシップ、プロを講師とした授業等の実施や産学官の連携の充実・強化など、キャリア教育の充実を図る

①香川県次代の担い手育成コンソーシアムの設立

産学官（経済団体、学校、県、労働局、産業教育振興会など）の連携をより充実・強化して就職支援を行う。全体協議会に加え、小豆、東讃、中讃、西讃の4つの地区運営協議会を設置し、各地域の実情に応じた協議を行う。

②インターンシップの実施

実習企業の開拓や実習内容の協議など、高校生のインターンシップを推進する。

③プロを講師とした授業

教科・科目等の授業において、優れた技術を持つプロによる指導を受けることにより、企業等で即戦力となる技術を身に付けさせるとともに、勤労観・職業観をはぐくむ。

(例)

学校名	教科・科目等	内容	講師
石田	農業・造園技術	植物・工作物・景観の管理	元香川大学教授
高松北	総合的な学習の時間	自己実現のために	弁護士
高松東	芸術・構成	竹細工	伝統工芸士
高松工芸	工業・色彩	カラーコーディネーションについて	1級建築士
坂出商業	商業・情報	Web ページにおける情報の視覚化	民間企業代表者

※平成23年度 プロ講師招聘予定数 274名

④ナンバーワン専門高校プロジェクトの実施

産業教育に関する全国レベルのコンテストや研究発表等でナンバーワンを目指す高校を7校選定し、その取組を定着させ、学校のブランド化を図る。

平成23年度「キャリア教育充実事業（ナンバーワン専門高校プロジェクト）」の指定校

学校名	テーマ
志度	珠算・電卓競技会（全国商業高等学校長協会主催）電卓部門で団体および個人日本一を目指す
高松工芸	高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会で2年連続優勝を目指すとともに、ジャパンマイコンカーラリー全国大会においても優勝を目指す
高松南	全国高校生クリエイティブコンテスト及び全国高校生料理コンクールで最優秀賞を目指す
坂出商業	全商プログラミング・コンテスト及びU-20プログラミング・コンテストで最優秀賞を目指す
多度津	高校生技術・アイデアコンテスト全国大会（全国工業高等学校長協会主催）で最優秀賞を目指す

笠田	日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表で最優秀賞を目指す
三豊工業	高校生ロボット相撲全国大会、高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会、ジャパンマイコンカーラリー大会で日本一を、高校生技術・アイディアコンテスト全国大会で最優秀賞を目指す

○ 就職指導の充実

高校生の就職が厳しい中、就職を希望する生徒の進路実現に向けた支援の充実を図る。

①就職スキルアップセミナーの開催

外部講師を学校に招き、マナー、言葉づかい、身だしなみから実際の質問に則した応答まで面接対策の講習を行うとともに、ミスマッチ就職や早期離職を防止するために実施の企業現場の見学会を実施する。就職に必要な基本的なマナーを身に付けさせるため、面接対策講習会や企業見学会等を実施する。

○面接対策講習会 [平成23年度実施予定校 6校]

高工、農経、飯山、丸城西、琴平、多度津

アビリティセンター(株) から講師を派遣し、面接対策の講習を行う。

○企業見学会

3年生の就職希望者を対象に、7月中旬(期末考査終了)から7月下旬までの間に、企業見学会を実施の予定。現在、見学コース(2社見学)を設定しているところである。

②ジョブ・サポート・ティーチャーの増員

求人開拓や、生徒に対する就職相談等を行うジョブ・サポート・ティーチャーを6名増員し、兼務方式で18校に配置する。

③新規求人開拓のための企業訪問への支援

教員が求人企業開拓を行うために必要な経費を支援する。

④未内定者に対する就職面談会の開催(11月実施予定)

就職未内定者を対象に就職合同面談会を実施し、求人企業とのマッチングを図る機会を設ける。

○ 教員の技術指導力の向上

最新技術を習得し、授業の改善を行うため、企業の技術者等を招いた実技講習会を行う。

8月実施予定

○ 情報・魅力発信

専門高校生の学習成果等を発表するための産業教育フェアの開催を12月に予定している。フェアを開催することで、専門教育に対する一般社会の関心を高め、専門高校で学ぶ生徒の学習意欲や職業観の高揚を図る。

[開催内容]

- ・実演展示による職業教育の紹介
- ・作文コンクール優秀者表彰
- ・ナンバーワン専門高校プロジェクト成果発表